

平成27年度 久留米市社会福祉協議会 事業計画

1 基本理念

「こころ」あふれる支え
合いのまち くるめ

2 基本目標

- (1) 心 地域意識をつくる
(地域福祉に関する意識啓発と情報の共有)
- (2) 実 サービスをつくる
(福祉サービスと相談体制の充実)
- (3) 人 地域で活躍する人材をつくる (地域活動への参加と人材育成)
- (4) 場 活動の場をつくる
(交流の場の確保とバリアフリー化の推進)
- (5) 和 支え合いの仕組みをつくる(地域での支え合いと連携の仕組みづくり)

3 基本方針

平成27年度は、生活困窮者自立支援法の施行や地域包括ケアシステムの構築などを目指した介護保険制度の見直しなど、社会保障制度の節目の年となります。そのため、社協に対して、地域福祉のさらなる推進に

取り組むことが期待されています。

その様な中、少子高齢化の進行等により、高齢者世帯・単身世帯が増加し、また生活形態の変化等により社会的孤立が広がっており、経済的困窮に起因する生活課題は大きな地域福祉の課題となっています。

これらの複合的・重層的な課題に対応し、地域で安心して暮らせるための切れ目のない支援や支え合いの仕組みづくりを進め、『「こころ」あふれる支え合いのまち くるめ』の実現を図るため、次の方針に基づき取り組みを進めます。

- (1) 地域における福祉活動やネットワークづくりを推進します。
- (2) 生活支援機能と福祉相談窓口機能の充実を図ります。
- (3) 将来の福祉を担う世代に対する福祉教育やボランティア活動活性化を進めます。

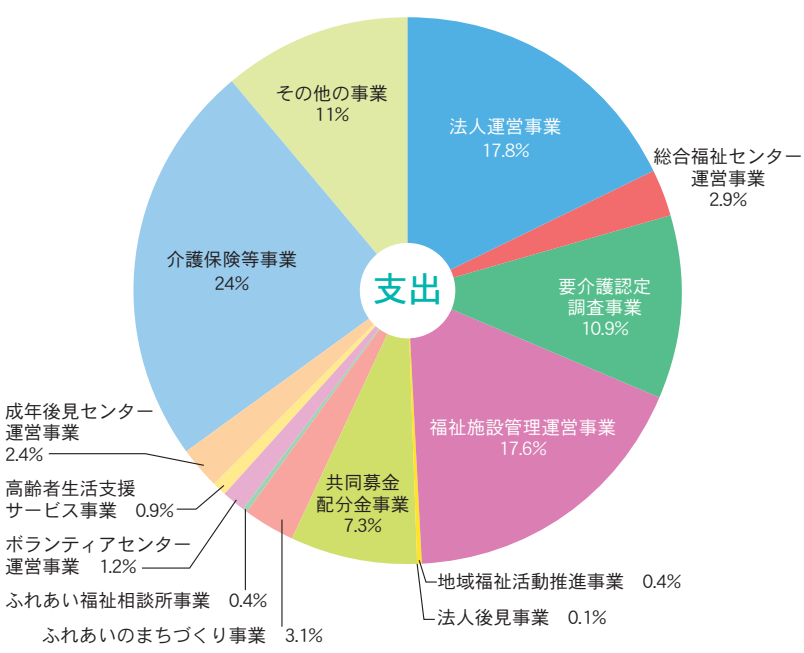
4 本年度の重点取り組みの内容

基本方針に基づき、本年度の重点取り組みとして次の7項目の取り組みを進めます。



多世代交流の様子

- (1) 地域福祉活動、ネットワーク活動の推進
 - ① 高齢者をはじめとした誰もが集える場、閉じこもり等の予防を期待できる場として、ふれあい・いきいきサロンや共生型サロンなどの普及・充実を図ります。
 - ② 地区社協など地域福祉の推進組織と協働し、さまざまな学習の機会等を通じて見守り訪問活動やサロン活動などの地域福祉活動を担う人材の確保、後継者育成に取組みます。
 - ③ サロン活動や見守りのネットワーク活動と地域担当コーディネーターの連携を強化し、新たな地域課題や、個別課題の発見に努め、関係機関や専門職による支援につなぐ仕組みづくりに取組みます。



支出	(千円)
法人運営事業	158,749
総合福祉センター運営事業	26,062
要介護認定調査事業	96,511
福祉施設管理運営事業	156,635
地域福祉活動推進事業	3,051
法人後見事業	1,051
共同募金配分金事業	65,102
ふれあいのまちづくり事業	27,052
ふれあい福祉相談所事業	3,717
ボランティアセンター運営事業	10,927
高齢者生活支援サービス事業	7,957
成年後見センター運営事業	21,479
介護保険等事業	213,114
その他の事業	97,961
合計	889,368